

報告-1

2023 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：2023 年 6 月 9 日 11 時 00 分～11 時 50 分
- ・ 場所：TKP ガーデンシティ渋谷 ホール 4C
- ・ 参加者数 35 名（会場 18 名，オンライン 17 名），委任状提出 26 名，書面議決提出 6 名（計 67 議決権）
- ・ 社員総会は、ハイブリッド形式で行った。

② 理事会の開催

- ・ 2023 年 6 月 9 日、9 月 19 日、12 月 1 日（ハイブリッド形式）
- ・ 2024 年 3 月 8 日（オンライン形式）
- ・ 理事会は、ハイブリッドまたはオンライン形式で行った。

③ 執行部会の運営事務

- ・ 2023 年 4 月 12 日、5 月 10 日、5 月 30 日、6 月 20 日、8 月 22 日、9 月 5 日、11 月 6 日、11 月 27 日
2024 年 2 月 2 日、2 月 26 日、3 月 22 日
- ・ 執行部会は、オンライン形式で行った。

④ 役員選挙の運営事務

- ・ 選挙管理委員会：（第 1 回）2023 年 12 月 18 日、（第 2 回）2024 年 3 月 4 日
- ・ 選挙公示：2024 年 1 月 23 日、投票締め切り：2 月 26 日、開票：3 月 4 日
- ・ 当選者の決定・当選者の公示：2024 年 3 月 4 日

⑤ 表彰委員会の運営事務

- ・ 2023 年 5 月 8 日（オンライン形式）

(2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 規則、細則の改訂
2023 年 9 月 19 日 理事会：職員俸給細則（俸給の改訂）
2023 年 9 月 19 日 理事会：職員就業細則（解雇及び退職の改訂）
2023 年 9 月 19 日 理事会：国内旅費細則（旅費の構成、赴任費用の改訂）
2024 年 3 月 8 日 理事会：規則（代議員及び社員の改訂）
2024 年 3 月 8 日 理事会：代議員選挙細則（役員への就任の改訂）

(3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成

(4) 部会

- ・ 2023 年 5 月 6 日 表彰委員会開催に関する打合せ（オンライン形式）総務部 2 名
- ・ 2023 年 6 月 1 日 社員総会開催に関する打合せ（オンライン形式）総務部 3 名、事務局 1 名
- ・ 2024 年 3 月 28 日 事業報告作成に関する打合せ（メール打合せ）総務部 2 名

2. 事業計画部

(1) 第 62 回研究発表会及び現地見学会の開催

- ・ 2023 年 9 月 19 日～22 日にかけて高山市民文化会館を会場とした対面方式にオンライン配信を加えた形で開催
- ・ 参加者数：656 名（現地参加名 567 名、オンライン参加 89 名）
- ・ 発表数：口頭発表 85 件、ポスター発表 44 件
- ・ 特別講演：9 月 20 日に 2 件の講演を実施
- ・ 県民講演会：9 月 19 日に 2 件の講演を実施
- ・ 現地見学会：9 月 22 日に 3 コースで実施
- ・ 新技術展示セッション：27 展示の実施。オンライン参加者向けにオンラインコアタイムを開催
- ・ 若手優秀発表賞の審査を実施（受賞者数：口頭発表部門 7 名、ポスター発表部門 4 名）

(2) 2023 年度シンポジウムの開催

- ・ 2023 年 6 月 9 日に「これからの日本地すべり学会に求められる社会貢献」を TKP ガーデンシティ 渋谷およびオンラインによるハイブリッド開催
- ・ 講演数：6 件
- ・ 参加者数：133 名（会場 66 名・オンライン 67 名）

(3) 部会の開催

- ・ 日 程：2023 年 4 月 17 日、6 月 2 日、7 月 27 日、9 月 21 日、10 月 16 日、12 月 4 日、
2024 年 2 月 9 日
- ・ 2024 年度シンポジウムの準備
日程、開催方法、テーマ、話題、進行の検討
- ・ 第 62 回研究発表会の準備と総括、第 63 回研究発表会（宮城大会）の準備
日程、開催方法、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞の検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

- ①編集委員会の開催 2023 年 4 月～2024 年 3 月まで 12 回開催(月 1 回、全てオンライン会議)
- ②日本地すべり学会誌 Vol. 60. 3～6、Vol. 61. 1～2 計 6 号の発行
- ③特集号の企画・発行
 - ・ 60(6)特集号「すべり面の物性と構造に関する調査・研究の課題」
 - ・ 61(2)特集号「すべり面に作用する地下水頭変化の捉え方に関する課題」
 - ※当初予定していた 60(4)特集号は応募原稿が無く、一般号に振り替えた
- ④シリーズ等の企画・連載
 - ・ シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード 101」の連載継続
 - ・ シリーズ：「地すべり探訪」の連載継続
 - ・ 国際部によるフォーラムの定期掲載
 - ・ 賛助会員による「わが社の技術」の継続
- ⑤日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行
- ⑥技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦
- ⑦投稿規定等の改訂
 - ・ 文言の統一、文章の簡潔化、新投稿システム Editorial Manager への対応
 - ・ 上の修正を英語版にも適用

(2) 出版委員会活動

- ① Landslides in Japan 改訂作業への協力（世話人会：2023年9月、第1回編集委員会：2024年3月）
- ② 出版企画の審査（出版企画の新規申請なし）

4. 研究調査部

(1) 研究助成

- ・ 2023年度の助成案件は以下の2件である。
- ・ 埋もれ木の年代測定に基づく歴史的な大規模土砂災害の再検証：池口崩れの事例 代表 山田隆二
- ・ 積雪地域に存する地すべりの活動に影響を与える地下水のかん養域の特定と効果的な排水トンネル工の配置について 代表 楠本岳志

(2) 地すべり・土石流災害調査報告会

以下のようにハイブリット形式（会場（対面）とオンラインの併用）で開催した。

開催日時：2023年12月1日 15:00～17:00

会場：TKP 新橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 10B
オンライン（Zoom を利用）

参加人数：174名（対面20名、オンライン154名）

プログラム：以下の通り。

開会あいさつ 古谷元（日本地すべり学会研究調査部長・富山県立大学）

調査報告 司会：古谷元（富山県立大学）、柴崎達也（国土防災技術株式会社）

1) 2022年大晦日未明鶴岡市西目で発生した斜面災害

発表：八木浩司（深田地質研究所）

2) 2023年融雪期に発生した糸魚川市広田地区の大規模地すべり

発表：竹内均（(株)日さく上越支店）

3) 令和5年7月豪雨による土砂災害発生状況—大分県日田市中山地区・小鹿田地区および佐賀県唐津地域

発表：木村匠（琉球大学）

総合討論 司会：山崎新太郎（京都大学）

(3) 研究委員会の活動

2023年度は以下の研究委員会活動を実施した。

- ① 地震時地すべり研究委員会（代表：土井一生）
- ② 雪氷圏の地すべり研究委員会（代表：岡本隆）
- ③ すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会（代表：中村真也）

2024年度の新規活動テーマの募集を行った。

(4) 研究調査部会

高山市民文化会館 2-1 練習室にて 2023年9月20日に実施した。

- ・ 土砂災害調査報告会の企画
- ・ 新規研究委員会テーマの検討依頼
- ・ 学会活性化（若手会員増も含む）に関する検討

(5) メール審議

- ・ 研究助成新規課題の審議（2023年6月6日）

5. 国際部

(1) 2023 年度会議

メール審議または遠隔会議とした。

① 第 1 回 2023 年 5 月 8～9 日（メール審議：21 名出席）

- ・ WLF(World Landslide Forum)参加登録費助成細則について（審議）
- ・ WLF 参加登録費助成採択者の決定方法について（審議）

② 第 2 回会議 2023 年 7 月 30～8 月 3 日（メール審議：21 名出席）

- ・ 第 23 回 BOR（Board of Representative;定例運営会議）/ICL 出席者への旅費補助者の決定（審議）
- ・ WLF6 参加登録費の助成対象者の決定（審議）
- ・ 第 62 回（2023 年度）研究発表会（岐阜）に合わせた国際部第 3 回会議の開催（報告）

③ 第 3 回会議 2023 年 9 月 20 日（13 名（うち 2 名遠隔）出席）

- ・ WLF(World Landslide Forum)参加登録費の助成（報告）
- ・ 国際部投稿の「フォーラム」について（審議）
- ・ 国際部投稿の「フォーラム」投稿状況の確認（審議）
- ・ 国際部による海外研究者の講演会開催（審議）
- ・ 国際部の活動の活性化について（審議）

④ 第 4 回会議 2024 年 2 月 13～15 日（メール審議：21 名出席）

- ・ 2024 年度国際部事業計画案の決定（審議）
- ・ 2024 年度国際部予算案の決定（審議）
- ・ 学会誌への「国際部フォーラム」投稿状況の確認（審議）

(2) 活動内容

- ① 地すべり学会誌 2023 年 5 月, 7 月, 9 月, 12 月号及び 2024 年 1 月, 3 月号に記事「国際部フォーラム」を掲載し, Landslides 誌等に掲載の論文紹介の記事を掲載した。
- ② 海外研究者（スイス・ローザンヌ大学, Michel Jaboyedoff 教授）の学術講演を 2024 年 1 月 12 日にオンラインで開催した（Jaboyedoff 教授を含め, 最大で 36 名の参加）。
- ③ 檜垣部員と廣田部員が WLF6 の開催に合わせて開催された BOR/ICL（23 の国と地域から 61 名が出席）に参加し, 情報を収集するとともに意見を交換した（2023 年 11 月 14 日）。
- ④ ICL の活動に関わる実施状況の確認と計画を審議した。

(3) その他の継続審議課題の検討

- ・ 新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・ SATREPS に関連したシンポジウムの企画の可能性
- ・ 日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性
- ・ 「斜面对策技術国際化委員会」との連携

6. 表彰委員会

(1) 学会賞（論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞）の審査

表彰委員会（2023 年 5 月 8 日）にて審議し、以下のように決定

- ・ 功労賞：中村直登
- ・ 国際賞：丸井英明

- ・技術報告賞：石丸聡
- ・研究奨励賞：Nguyen VAN Thang

(2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：2023年5月12日

(3) 研究発表会の表彰式で表彰状授与：2023年9月20日

(4) 2024年度の候補募集

- ・会員向けメール、学会誌(Vol.60、No.6)、及び学会 Website で推薦公募
締め切り：2024年3月1日

7. 解説委員会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

案件	日付	依頼元	内容	主対応者
地すべり対策等での排水対策に関する書籍の問合せ	2023/7/26	非会員の民間人	地すべり対策や斜面崩壊対策に関連した、帯水層からの排水対策や排水管理を詳述している書籍を紹介してほしいとの相談があった。そのような書籍がないことを説明し、日本地すべり学会誌等に掲載された関連する論文の事例をいくつか紹介した。	榎田充哉
放置竹林と土砂災害の関係に関する問合せ	2023/11/9	中京テレビ	中京テレビの「キャッチ」という番組の取材で、「放置竹林が増えると、地すべりや土砂災害が起きやすくなる」という情報が正しいかを電話で教えてほしいという内容であった。最終的には森林総研出身の落合博貴委員に対応をお願いした。	落合博貴 稲垣秀輝 榎田充哉

8. 選挙管理委員会

(1) 代議員選挙の報告

- ・2023年3月に実施した代議員選挙結果を、2023年5月12日の理事会にて報告

(2) 役員選挙の実施

- ・2024年2月に、2024～2025年度の役員を選任する選挙を実施した。

投票率：100%（前回役員選挙の投票率：97.3%）

- ・選挙管理委員会

選挙実施準備：2023年12月18日

開票：2024年3月4日

9. 斜面对策技術国際化委員会

成果品原稿に関する推敲部会を以下の日程で合計9回開催した。1回の推敲部会は原則2日間であるが、1日目で推敲作業が終了することもあった。それぞれ10:00～17:00の時間帯に実施したが、各実施日の参加者は4～6名であった。

(1) 第23回推敲部会(Web)：2023年4月18日～19日

(2) 第24回推敲部会(Web)：2023年5月16日～17日

- (3) 第 25 回推敲部会(Web) : 2023 年 6 月 27 日～28 日
- (4) 第 26 回推敲部会(Web) : 2023 年 8 月 7 日
- (5) 第 27 回推敲部会(Web) : 2023 年 9 月 26 日、10 月 2 日
- (6) 第 28 回推敲部会(Web) : 2023 年 10 月 25 日
- (7) 第 29 回推敲部会(Web) : 2023 年 12 月 5 日～6 日
- (8) 第 30 回推敲部会(Web) : 2024 年 1 月 11 日～12 日
- (9) 第 31 回推敲部会(対面) : 2024 年 2 月 5 日

その他、2023 年 9 月の研究発表会（高山大会）では本委員会から特別セッション「日本の斜面对策技術の国際化の課題－海外と日本の違い」を提案し、本委員会の成果に関して 5 編の口頭発表とその後の討論を行った。

10. 北海道支部

(1) 総会

- ・ 対面とオンライン投票併用による審議
- ・ 審議の日程 : 2023 年 4 月 28 日
- ・ 投票者 : 35 名(承認 35 名、否認 : 0 名)

(2) 特別講演会

- ・ 日 時 : 2023 年 4 月 28 日
- ・ オンライン併用による開催
- ・ 参加者 : 110 名
- ・ 特別講演 : 「実数値のみを用いた斜面解析と対策工」
((有) 太田ジオリサーチ 相談役 太田 英将 氏)

(3) 第 1 回運営委員会

- ・ 日 時 : 2023 年 7 月 20 日
- ・ 開催形式 : 対面
- ・ 参加者 : 31 名
- ・ 会議内容 : 2023 年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(4) 第 2 回運営委員会

- ・ 日 時 : 2024 年 2 月 7 日
- ・ 開催形式 : 対面
- ・ 参加者 : 29 名
- ・ 会議内容 : 2023 年度事業・決算見込み報告、2024 年度事業計画・予算(案)、本部動向、その他

(5) 5 学会支部連絡会

- ・ 日 時 : 2024 年 1 月 23 日 15:00～16:30
- ・ 開催形式 : オンライン
- ・ 参加者 : 10 名
- ・ 会議内容 : 各支部（土木学会、砂防学会、地盤工学会、農業農村工学会、日本地すべり学会）の 2023 年度報告および 2024 年度計画・今後の連携に関する意見交換

(6) 巡検部活動

- ・ 日 時 : 2023 年 9 月 8 日
- ・ 開催場所 : 日勝峠・富良野地区

- ・案内者：石丸 聡 氏（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）
倉橋 稔幸 氏（土木研究所 寒地土木研究所）
加勢 善洋 氏（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）
小安 浩理 氏（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）
- ・参加者：33名（うち案内者4名）
- ・内容：近年北海道の雨量強度の増加により多発する周氷河堆積物で構成される斜面の崩壊に焦点をあて、2016年豪雨災害時の状況やボーリング・物理探査などの調査結果を確認しながら、周氷河堆積物・段丘堆積物等の地質性状・堆積構造の見学を実施した。

(7) 広報部活動

研究発表会予稿集編集(4月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(8) 技術普及部活動

「技術講習会」

- ・日 時：2023年8月4日
- ・開催形式：対面、若手の会との共催
- ・講師：寺井 康文 氏（大地コンサルタント（株））
本間 宏樹 氏（応用地質（株））
中鶴 真也 氏（北海道土木設計（株））
石田 博英 氏（防災地質工業（株））（若手の会）
- ・参加者：43名（うち運営5名）
- ・内容：地すべり調査の初学者を対象として、地すべり調査や観測・解析手法についての解説と実技を行い、若手の会より実例の紹介を実施した。講習会後には、北海道地すべり学会による若手技術者への参加費の補助を得て懇親会を開催した（参加者22名）。

(9) シニア会の活動

①若手の会・シニア会技術交流会（第4回北海道ランドスライド倶楽部）

- ・日 時：2023年11月17日 14:00～16:45
- ・開催形式：対面、若手の会との共催
- ・参加者：13名
- ・プログラム
 1. 話題提供 若手の会 「地すべり微地形と考察」 石田 博英 氏（防災地質工業（株））
 2. 講演 シニア会 「私の経験した現場」 内山 幸二 氏（有限会社アース企画）
 3. 質疑応答、フリートーキング

②第5回北海道ランドスライド倶楽部

- ・日 時：2023年12月20日 14:00～16:45
- ・開催形式：対面
- ・参加者：17名
- ・『北海道南西沖地震から30年』—その時何が起こり何を考え何をしたのか—
 - 「1993年北海道南西沖地震と斜面災害」 雨宮 和夫 氏（防災地質工業（株））
 - 「地震後の被災状況調査/液状化トレンチとその後」 石井 正之 氏（石井技術士事務所）

(10) 若手の会の活動

①技術普及部との共催

内容等は技術普及部の報告に記載済みのため割愛

②若手の会・シニア会技術交流会

内容等はシニア会の報告に記載済みのため割愛

(11) 対外(北海道地すべり学会)協力

①企画委員会 (普及活動)

○山地災害防止キャンペーンパネル展

- ・日時：2023年6月5日～6日
- ・場所：北海道庁 1F ロビー道政広報コーナー
- ・主催者：北海道水産林務部林務局治山課
- ・参加者：200名以上
- ・内容：林野庁が都道府県及び市町村と一体となって一般市民の防災意識の高揚に資するために行っている山地災害防止キャンペーン活動の一環として、地すべり模型の展示実演を行った。

○岩見沢農業高校の出前授業

- ・日時：2023年6月30日 9:00～17:00
- ・場所：当別町、月形町（道民の森神居尻地区、国道451号、当別川流域）
- ・対象：北海道岩見沢農業高等学校森林科学科3年生37名、教員2名
- ・地すべり学会参加者：北海道土木設計（株） 中鶴 真也 氏
明治コンサルタント（株） 溝上 雅宏 氏
（株）地圏総合コンサルタント 高橋 拓也 氏
（株）開発調査研究所 銭谷 竜一 氏
- ・内容：現地に実際に施工されている治山施設（法枠工、床固工、雪崩防止柵、スリットダム）を見学し、治山事業の重要性、工事の種類、設計の考え方を学習した。地すべり現象による路面変状を観察し、地すべり発生メカニズムを学習した。地すべり現象による地形変状を観察し、地すべり対策工施工箇所を2箇所（①杭工、アンカー工+擁壁工、②集水井工+杭工）を見学した。新第三紀の堆積岩と第四紀の段丘堆積物の露頭を見学し、当別川流域の地質、地形の成り立ちを学習した。

○地すべり模型の出張展示実演「ジオ・フェスティバル in Sapporo 2023」

- ・日時：2023年10月7日 10:00～16:00
- ・場所：札幌市生涯学習支援センター「ちえりあ」 2階大研修室
- ・主催：ジオ・フェスティバル in Sapporo 実行委員会
- ・内容：1回5～10分程度の展示実演を35回行った。

②研究調査委員会

- ・日時：2024年2月29日
- ・開催形式：ハイブリッド
- ・参加者：対面40名、オンライン100名
- ・話題提供：
「様似町鶉苫で発生した地すべりについて」 永田 勝 氏（(株)構研エンジニアリング）
「胆振東部地震に伴う表層崩壊における水の役割—降下火砕物層の水分特性と水分動態観測から—」 桂 真也 氏（北海道大学）
「粗粒安山岩質テフラの風化におけるハロイサイトの生成機構：鉄の酸化還元状態と地中水文過程がもたらす影響」 福井 宏和 氏（京都大学）
- ・討論
「テフラ層すべりのメカニズムについて」

③技術委員会

○第1回委員会

- ・日時：2023年9月1日 14:00～17:00
- ・開催形式：ハイブリッド

- ・参加者：対面 23 名、オンライン 19 名
- ・内容：法面保護工の維持補修に関するガイドライン（案）と事例集の紹介
斜面維持補修施工技術研究会 技術委員 窪塚 大輔 氏（日特建設（株））

○第 2 回委員会

- ・日 時：2024 年 2 月 22 日 14:00～17:00
- ・開催形式：対面
- ・参加者：20 名
- ・話題提供

「徳島県 2004 年阿津江地すべり（狭義）のすべり面粘土」

北見工業大学名誉教授 前田 寛之 氏

「地すべり対策工の最近の課題」 日本基礎技術（株） 中村 剛 氏

11. 東北支部

(1) 支部総会

- ①日 時 2023 年 5 月 12 日 14:00～15:00
- ②場 所 せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター（ハイブリッド開催）
- ③参加者 会場出席 44 名 リモート出席 14 名 委任状 44 名 計 102 名

(2) 会議等

① 役員会

- ・第 1 回役員会（2023 年 4 月 19 日 リモート 9 名）
2023 年度事業計画、2024 年度研究発表会及び現地見学会（以下宮城大会）に関する協議
- ・第 2 回役員会（2024 年 3 月 29 日 東北支部事務局・リモート 計 27 名）
2023 年度事業実施及び 2024 年度事業計画に関する協議

② 幹事会 *宮城大会準備会及び幹事会と兼ねて開催

- ・第 1 回幹事会（宮城大会準備会 2023 年 5 月 12 日 せんだいメディアテーク会議室 23 名）
2023 年度事業計画についての協議、宮城大会の計画立案について協議
- ・第 2 回幹事会（宮城大会準備会 2023 年 7 月 5 日 東北支部事務局・リモート 計 32 名）
宮城大会開催概要ならびに組織体制、実施計画、収支予算（案）に関する協議
2023 年度東北支部現地検討会についての協議
- ・第 3 回幹事会（宮城大会幹事会 2023 年 8 月 25 日 東北支部事務局・リモート 29 名）
宮城大会の準備進捗、実施計画に関する協議
- ・第 4 回幹事会（宮城大会準備会 2023 年 11 月 10 日 東北支部会議室・リモート 29 名）
2023 年度事業実施報告、宮城大会実施計画及び収支予算（修正）に関する協議
- ・第 5 回幹事会（宮城大会幹事会 2024 年 2 月 5 日 東北支部会議室・リモート 26 名）
宮城大会行程、受付システム、運営方法、県民講演会ほか各行事に関する協議
- ・第 6 回幹事会（2024 年 3 月 29 日 東北支部事務局会議室・リモート 計 27 名）
2024 年度事業の実施概要確認、宮城大会行事に関する協議

③ 運営委員会

- ・第 1 回運営委員会（2024 年 3 月 29 日 東北支部事務局会議室・リモート 計 27 名）
2023 年度事業実行状況の報告、2024 年度事業計画に関する方針説明について
2024 年度総会議案書の審議、2024 年度研究発表会及び現地見学会開催に関する進捗状況
報告

④宮城大会関係

- ・準備会 2023年3月10日、5月12日、7月5日、8月11日
- ・幹事会 2023年8月25日、11月10日、2024年2月5日
- ・実行委員会 2023年11月10日(第1回)
- ・本部事業計画部 2023年9月21日、12月4日、2024年2月9日

(3)講演会等

①第1回講演会

- ・開催日時 2023年5月12日 15:00~17:00
- ・開催場所 せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター
- ・参加者 対面参加78名 リモート参加101名 計179名
- ・講演及び講師
「土砂災害対策の現状と今後の課題」 国土交通省東北地方整備局河川部長 板屋英治氏
「個別要素法における土砂流動・落石シミュレーションの不確実性の定量化」
東北大学災害科学国際研究所准教授 森口周二氏

②第2回講演会

- ・開催日時 2023年7月28日 13:00~14:00
- ・開催場所 東北支部会議室・リモート開催
- ・参加者 対面参加29名 リモート参加109名 計138名
- ・講演及び講師
「地すべり地の動態観測へのデータサイエンスの応用事例
— 状態空間モデルによる間隙水圧のベイズ推定法 —」
秋田大学大学院理工学研究科准教授 荻野俊寛氏

③西目地区災害現地地調査報告会

- ・開催日及び参加者 2023年7月28日 参加 会場参加29名 リモート参加109名
- ・開催場所 東北支部会議室・リモート開催
- ・調査報告 被災地周辺の地質と風化状況 (山形大学 本山 功・井村 匠)
地形復元から見た地形変化の影響
(山形大学 八木浩司、防災科学研究所 佐藤昌人・山田隆二、
奥山ボーリング 林 一成・ディーパック ラジュ バート)
水文解析から見た地下水変化予測 (水文企画 渡辺 修)
風化による土質劣化と土質特性 (国土防災技術 柴崎達也)
初期救命活動 (消防研究センター 新井場公德)
西目地区地すべり対策について (山形県、日本工営 工藤唯志)

(4)巡検・災害調査活動

①鶴岡市西目地区斜面災害現地調査

- ・実施日及び参加者 2023年4月23日 参加20名

②2023年度地すべり現地検討会 : 宮城県栗原市「荒砥沢地すべり」

- ・開催日及び参加者 2023年10月19日~10月20日 参加42名
- ・テーマ 「地すべりの地質遺産としての保全とモニタリング手法を考える」
- ・国内最大級の地すべり地とジオパーク活動との関係を踏まえ、その保全とモニタリングの考え方と手法について意見交換と討論を行った。

(5)研修活動

支部若手会員向けの地形判読と地すべり危険度評価について「斜面防災危険度評価ガイド

ブック」をテキストに、グループワーク形式で実践的な研修を3回実施した。

- ・第1回 2023年4月27日 「地すべり地形の判読と評価」 参加28名
- ・第2回 2023年7月4日 「空中写真による地すべり危険度評価」 参加29名
- ・第3回 2023年11月9日 「数値地形情報による地すべり評価への展開」 参加18名

(6) 広報活動等

- ①支部だより第34号の発行（2023年12月20日） 印刷部数235部、発送部数227部
- ②支部ホームページの更新、情報発信、各種事業案内・参加募集、支部行事等の掲載など

(7) 関連団体との連携・地域貢献

- ①講師派遣等
 - ・宮城県砂防ボランティア協会（2023年5月18日（株）復建技術コンサルタント 押見和義氏）
- ②各種団体への後援
 - ・（一社）地盤品質判定士会東北支部 被災地見学会（第3回）（2023年10月24日）
 - ・（公社）土木学会東北支部 「防災に関するシンポジウム」（2024年1月11日）

12. 新潟支部

(1) 2023年度支部総会・特別講演会

2023年5月26日、新潟大学駅南キャンパスときめいとで開催（対面・オンライン併用）
特別講演会は上野将司氏による「地すべり調査に取り組んで～現場の調査を見直そう～」
参加者は総会对面22名・オンライン13名、特別講演会对面24名・オンライン30名。

(2) 新潟県地すべり災害記録CD改訂版の出版

2023年5月26日、2023年版を出版（2022年に発生した地すべり災害記録を追加）

(3) 現地見学会

2023年10月27日新潟県長岡市で開催
INPEX 南長岡ガス田（越路原プラント構内及び坑井）を見学
日本応用地質学会北陸支部との共同開催、参加者は9名

(4) 新潟県地すべり対策研究会への参加

2023年3月14日、技術部会及び総会開催（オンライン）
支部からの参加者は6名。

(5) 新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(6) 会議記録

今年度は幹事会としての会議は開催していない
必要に応じて幹事にメーリングリストで情報提供・意見交換した

13. 関東支部

(1) 総会・シンポジウム

2023年5月9日 11:00～11:30
日比谷図書文化館（地下一階）大ホール
（東京都千代田区日比谷公園1-4）
出席者数29名 委任状数113名 計142名（定足数91名以上）

総会終了後、シンポジウム「地震時の地すべり」開催：参加者 70 名

- ・ 関東地震（1923）による土砂災害の概要と Poole の逃避行ルート
井上公夫（（一財）砂防フロンティア整備推進機構・専門研究員）
- ・ 関東地震による震生湖の地すべりについて
千木良雅弘（（公財）深田地質研究所・理事長）
- ・ 都市部に隠れた地震時盛土地すべりとその課題
太田英将（（有）太田ジオリサーチ・相談役）
- ・ 総合討論（コーディネータ：新井場公德・関東支部支部長）
- ・ 概要集発行

(2) 現地検討会

テーマ：河振地すべり防止区域（群馬県甘楽町）

期 日：2023 年 10 月 26 日

場 所：群馬県甘楽郡甘楽町秋畑地区（河振地すべり）

協 力：群馬県西部農業事務所

参加者：12 名（有料）

内 容：河振地すべりの概要と地すべり観測・対策工等を見学

(3) (一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業

名 称：合同見学会「譲原地すべりと対策工事の見学」

期 日：2023 年 11 月 22 日

場 所：群馬県藤岡市譲原地区（譲原地すべり）

主 催：（公社）日本地すべり学会 関東支部・（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部

協 力：関東地方整備局利根川水系砂防事務所

参加者：34 名（無料）

内 容：譲原地すべりの概要と既往対策施設及び施工中の対策工等を見学

(4) 若手対策事業

名 称：地すべり対策技術に関する基礎勉強会-地すべり地形判読-

期 日：2024 年 1 月 20 日

場 所：東京都市大学 横浜キャンパス 2 号館 1 階

参加者：25 名（無料）

内 容：「地すべり地形判読」をテーマにベテランの実践的知識を若手が学ぶ勉強会

2022 年度事業計画において「学会本部との協議を踏まえて企画検討」としていたものについて、本部への申請が認められたため実施したものの。

(5) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

- ・ 第 1 回 2023 年 4 月 24 日 オンライン会議 出席者 15 名
- ・ 第 2 回 2024 年 2 月 27 日 オンライン会議 出席者 18 名

② 幹事会

- ・ 第 1 回 2023 年 4 月 18 日 オンライン会議 出席者 11 名
- ・ 第 2 回 2023 年 6 月 30 日 オンライン会議 出席者 12 名
- ・ 第 3 回 2023 年 9 月 21 日 オンライン会議 出席者 9 名
- ・ 第 4 回 2024 年 12 月 22 日 奥山ボーリング(株)会議室 出席者 11 名
- ・ 第 5 回 2024 年 2 月 27 日 オンライン会議 出席者 18 名

(6) 広報活動等

- ・ 関東支部 Web ページ更新

14. 中部支部

(1) 支部運営委員会

2023 年 4 月 21 日

- ・ 場 所：TOiGO 長野市生涯学習センター(長野市)
- ・ 出席者：15 名

(2) 支部総会及び特別講演

2023 年 4 月 21 日

- ・ 場 所：TOiGO 長野市生涯学習センター(長野市)
- ・ 講 演：「遺伝子から紐解く信州の生物多様性」
信州大学 副学長・理学部教授(兼任) 東城幸治 氏
- ・ 参加者：69 名

(3) アウトリーチ活動

① 現地学習会

2023 年 10 月 30 日

- ・ 場 所：小松原地すべり及び茶臼山地すべり(長野県長野市)
- ・ 対 象：信州大学農学部学生
- ・ 出 席 者：10 名(堤大三 支部長ほか 9 名)
- ・ 参 加 者：8 名

② 「環境防災学～地すべりってなに?～」への講師派遣

2023 年 12 月 1 日

- ・ 場 所：長野工業高等専門学校(長野県長野市)
- ・ 出 席 者：7 名(講師 5 名、運営スタッフ 2 名)
- ・ 参 加 者：23 名(長野工業高等専門学校 先生 1 名、学生 22 名)

(4) 中部支部ニュース発行

2024 年 3 月 31 日

(5) 幹事会

2023 年 4 月 14 日：長野市生涯学習センター(出席者 25 名 ※オンライン参加者 4 名を含む)

2023 年 8 月 4 日：長野市生涯学習センター(出席者 33 名 ※オンライン参加者 12 名を含む)

2023 年 11 月 10 日：長野市生涯学習センター(出席者 22 名 ※オンライン参加者 4 名を含む)

2024 年 1 月 11 日：長野市生涯学習センター(出席者 28 名 ※オンライン参加者 8 名を含む)

15. 関西支部

(1) 第 1 回運営委員会

- ① 日時：2023 年 4 月 7 日
- ② 場所：Zoom によるオンライン開催
- ③ 出席者：19 名 委任状：1 名
- ④ 議事：
報 告

2022年度第2回運営委員会議事録、2022年度支部事業報告(案)、会誌「らんどすらいど」No. 38、
協賛会員名簿、2022年度支部決算報告(案)

議 題

2023年度事業計画(案)、2023年度予算計画(案)、運営委員選挙の管理委員の選出、その他

(2) 技術研究集会<萌芽的技術研究の部>開催

① 日時：2023年6月1日9:50~12:25

② 場所：大阪ドーンセンター

③ 主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④ 参加者：30名程度

⑤ 講演者とタイトル

北村 和輝 ((株)エイト日本技術開発)

「災害対応のBIM/CIMモデルへの取り組み」

本庄 晃汰 (呉工業高等専門学校)

「救助支援マップ:地域防災に関する一取り組み-呉市広長浜地区の事例-」

三浦 一宏 (復建調査設計(株)) 「CloudCompareの活用事例」

神田 樹 ((株)ウエスコ) 「実効雨量を利用した排水対策工の効果判定」

下郷 裕之 ((株)地研) 「地すべりの滑動に伴うアンカー残存引張力の変化」

総合討論

(3) 技術研究集会<実践的技術研究の部>開催

① 日時：2023年6月1日13:30~16:50

② 場所：大阪ドーンセンターおよびZoomによるオンライン開催

③ 主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④ 後援：(公社)砂防学会関西支部、(公社)地盤工学会関西支部

⑤ 参加者：会場参加27名、Web参加278名(計305名)

⑥ 講演者とタイトル

<基調講演>

・NHKプラタモリから学ぶこと

香川大学名誉教授 長谷川 修一

<話題提供>

・長崎県第三紀層地すべりの発生メカニズムと対策

復建調査設計(株) 渡邊 聡

・集水井工の三次元点群モデルを用いた形状変形の客観的評価

国土防災技術(株) 加藤 貴文

<技術報告>

・赤外線カメラ搭載ラジコンカーによる谷埋め盛土暗渠排水管内の点検

太田ジオリサーチ 美馬 健二

<総合討論>

・新技術が革新する地すべり防災

司会：(太田英将 太田ジオリサーチ)、パネリスト：講演者

(4) 関西支部 総会

② 日時：2023年4月14日~4月20日

③ 開催方法：メール審議

④ 議事

報 告

2022 年度活動報告、2022 年度決算報告、2023 年度活動計画、2023 年度予算、その他
(5) 第 2 回運営委員会

- ① 日時：2023 年 11 月 2 日
- ② 場所：ハイブリッド形式
- ③ 出席者：17 名 委任状 2 名
- ④ 議事

報告

2023 年度第 1 回運営委員会議事録、2023 年度支部事業報告、2024 年度今後の事業予定
議題

2024 年度支部行事について、2025 年度全国大会について、その他
(6) 2023 年度（公社）日本地すべり学会関西支部現地討論会

「平成 23 年度紀伊半島大水害の復旧・復興状況について」開催

- ① 見学会日時：2023 年 10 月 20 日
- ② 見学場所：奈良県五條市大塔町赤谷地区、奈良県吉野郡天川村冷水地区
- ③ 討論会日時：2023 年 10 月 21 日
- ④ 討論会場所：橿原市商工会議所 4 階 特別会議室（橿原市久米町 652-2）
- ⑤ 主催：（公社）日本地すべり学会関西支部
- ⑥ 後援：国土交通省近畿地方整備局・奈良県

公益社団法人 砂防学会関西支部・公益社団法人 地盤工学会関西支部

- ⑦ 見学会参加者：24 名
- ⑧ 討論会参加者：21 名
- ⑨ 講演者とタイトル
・話題提供
 - 1) 「紀伊山地における大規模河道閉塞（天然ダム）対策について」
国土技術政策総合研究所大規模土砂災害対策技術センター_竹下 航
 - 2) 「広島県におけるマイ・タイムラインの普及促進事業と今後の展開」
広島県みんなで減災推進課_沖村俊介
 - 3) 「紀伊半島大水害時の初動対応と振り返り」
日本工営(株)_後藤寛和

(7) 「らんどすらいど 3 9 会誌の発行・発送

- ① 日時：2024 年 1 月 26 日
- ② 執筆者とタイトル

CioudCompare の活用事例 三浦一宏（復建調査設計(株)）
長崎県第三紀層地すべりの発生メカニズムと対策 渡邊聡・中井真司（復建調査設計(株)）
施工中のアンカー工を対象としたアンター荷重観測事例
下郷裕之・岡村洋・山本亮輔・宮地修一（(株)地研）
「法華津湾周辺の崩壊地と付加体の地質」勉強会
（第 2 回若手技術者支援企画）開催報告 山崎新太郎（京都大学防災研究所）
令和 5 年度現地討論会「平成 23 年度紀伊半島大水害の
復旧・復興状況について」参加報告 網野功輔（日本工営(株)）

16. 九州支部

(1) 支部幹事会

① 第一回

開催日：2023年4月20日 17:00～18:00

開催場所：TKP ガーデンシティ博多とオンライン（Teams）

参加者：出席16名、委任40名

② 第二回

開催日：2023年6月8日 10:00～12:00

開催場所：鹿児島大学郡元キャンパス稲盛会館とオンライン（Teams）

参加者：出席14名、委任24名

(2) 支部総会

開催日：2023年5月10日～5月24日

開催場所：Web開催

参加者：56名

議 題

第1号議案 2023年度支部役員選出

第2号議案 2022年度決算報告および監査報告

第3号議案 2023年度予算（案）

第4号議案 2023、2024、2025年度の総会・講演会開催地

第5号議案 活動方針について

その他

報告・懇談事項

資 料

賛助会員状況、支部規約、R5年度沖縄会の役員等の名簿、2023年度支部学術講演会（鹿児島大会）開催案内（第1報）、2023-2024（公社）日本地すべり学会代議員名簿、若手会員対策事業（学会本部より）、学会メーリングリストへの登録のお願い

(3) 支部学術講演会、意見交換会

① 支部学術講演会

日 時：2023年6月8日 13:00～17:30

開催場所：鹿児島大学郡元キャンパス稲盛会館

参加者：106名

基調講演 3件

地頭菌 隆 先生（鹿児島大学教授）

酒匂 一成 先生（鹿児島大学教授）

鹿児島県土木部砂防課

一般講演 6件

総合討論

② 意見交換会

日 時：2023年6月8日 18:00～20:00

開催場所：鹿児島大学稲盛記念館 2F ヴェジマルシェ'19

参加者：31名

(4) 支部現地検討会

日時：2023年6月9日

開催場所：鹿児島県「南さつま市平崎地区地すべり」

参加者：24名

(5) 支部講習会

支部技術検討会（事務局：沖縄会）

日時：2024年2月1日 13:10～16:40

開催場所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

参加者：54名

基調講演 1件

中村 真也 先生（琉球大学教授）

一般発表 5件

総合討論

(6) 九州支部ホームページの管理・運営

・支部役員・幹事の更新、支部活動・行事のお知らせ、PDF等の共有

(7) アウトリーチと若手会員活性化に関する活動

・地すべり・斜面防災におけるアウトリーチ、若手会員に関する活動について、担当の香月副支部長と支部事務局で打ち合わせを行った

・2024年度の支部現地見学会等で若手～シニアが討論できる場を設ける予定

(6) 共催・後援事業

①2023年度 現場見学会（第13回）

共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会

開催日：2023年11月10日

②先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2023

主催：先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2023 開催委員会（熊本県・熊本市・一般社団法人地域産業活性協会）

後援：（公社）日本地すべり学会九州支部ほか

開催日：2023年11月21日-11月22日

会場：グランメッセ熊本

17. 会員数対策

(1) 若手対策 WG

◆地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク

参加者数 120名

オーガナイザー 14名

アドバイザー 2名

事務局 2名

【オーガナイザー・ミーティング】

・第8回 2023年4月14日（Web開催）

議題；①現地研修会について（開催概要）

②その他

- ・第9回 2023年6月7日 (Web開催)
議題；①現地研修会について (開催要領、準備等について)
②次回オンライン会合について
③その他
- ・第10回 2023年7月26日 (Web開催)
議題；①現地研修会に関する開催概要、準備・役割分担、スケジュール等について
②次回オンライン会合の開催内容について
③事務局からのお知らせ
- ・第11回 2023年11月29日 (Web開催)
議題；①現地研修会について
・現地研修会の報告、現地研修会のフォローアップ、学会誌への投稿
②第6回オンライン会合について
・オーガナイザーの担当再配分、今後の実施計画

【ネットワーク会合】

- ・第6回オンライン会合 2023年9月12日 (Web開催)
講演；①『地すべり CIM の概要』(日本工営(株) 畠田和弘)
②『UAV 写真計測方法』(株エイト日本技術開発 和田佳記)
③『点群作成方法』(土木研究所 奥山悠木)
④『CIM モデル作成方法』(日本工営(株) 畠田和弘)
⑤質疑応答

参加；52名

【現地研修会】

- ・開催概要
日時 2023年9月26日(火) 正午～27日(水) 午後3時頃
場所 群馬県富岡市内匠地区
1日目；現場での実習 (令和元年10月の台風19号による斜面災害現場)
2日目；群馬県富岡土木事務所内会議室での実習
参加 12名 (+地元住民、オーガナイザー、協力業者等)

【アンケート】

- ・現地研修会への要望等に関するアンケート調査を実施
期間 2023年4月25日～5月12日
回答 57個
※アンケート結果については、地すべり学会 BIM/CIM ネットワークの共有フォルダで公開

◆若手対策事業

各支部が主催する行事として実施 (各支部報告参照)

(2)シニア対策 WG

- ① 春期談話会 2023年6月10日
講師：檜垣大助 弘前大学名誉教授
「延べ30年の東北を振り返るー山間地の環境 (自然・人)、大規模災害」
：井良沢道也 岩手大学名誉教授
「地すべりと人・地域との関わりについて」
参加者数：30名 (講師は除く)
- ② シニア会運営打ち合せ 2023年9月20日
討議内容：春期談話会の方式について
秋期巡検の候補地について
参加者数：11名
- ③ 秋期巡検 2023年12月9日
案内役：八木浩司 山形大学名誉教授 (公財 深田地質研究所)
テーマ：「東京の坂を意識しながら歩き、その意味を捉える」

主なコース：東京駅丸の内→旧江戸城天守→千鳥ヶ淵→三宅坂→首相官邸→溜池山王→麴町
参加者数：11名（案内役は除く）

18. アウトリーチ

(1) 組織

アウトリーチ検討連絡会を Web 開催して活動を行った。

(2) 本部・支部アウトリーチ活動の整理

①2023年5月29日に Web 会議で、各支部のアウトリーチ活動の整理を行った。支部のアウトリーチ担当者など10名参加

2022年実績整理・2023年実施計画整理

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。